



木の实谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第11号」
令和5年3月15日発行
「誉れ・希望・誇り」

人見るもよし 人見ざるもよし 我は咲くなり

校長 水科 貴之

降り注ぐ柔らかな日差しに、確実に春の息吹を感じる中、6日(月)に第44回卒業証書授与式を挙行了ました。5名のご来賓の皆様のご臨席を賜り、厳粛な雰囲気の中にも感動的で心温まる式となりました。また、多数の保護者の皆様、在校生、教職員の見守る中、一人一人が堂々とした態度で卒業証書を手に入れました。また、卒業記念合唱は中学校生活3年間、共に過ごした仲間への感謝の気持ちを込め、「キセキ」という曲を披露しました。立派な姿に成長した19名の卒業生には、予測困難なこれからの社会を夢と希望を持ち、たくましく生き抜いてほしいと願っています。保護者の皆様、お子様のご卒業誠にありがとうございます。また、3年間にわたり当校の教育活動に御理解と御協力をいただいたことに感謝申し上げます。大変ありがとうございました。以下は校長式辞の一部です。

さて4月からは高校生です。新たな生活へ力強く第一歩を踏み出す皆さんの前途を祝し、次の言葉を贈ります。「人見るもよし 人見ざるもよし 我は咲くなり」

これは、近代日本の作家である武者小路実篤(むしゃのこうじ さねあつ)さんの言葉です。実はこの言葉の前に「天与(てんよ)の花を咲かす喜び 共に咲く喜び」という言葉がつけます。自分自身を花に例えたこの言葉を直訳すると、「天から与えられた自分自身を咲かす喜び、他者と共に咲く喜び、そして、自分のことを他人(ひと)が見ていても、見ていなくても構わない、私は私らしく咲くだけです」という意味になります。

そしてこの考えは、新たな環境でスタートを切る上でも、とても大切な視点です。人が見てくれ、褒めてくれたら「ありがとう」と感謝できる素直さ。人が見ていなくても、いい加減にするのではなく、すべきことを最後まで実行できる責任感。

私たちは新しいことに挑戦する時、多少なりともそれを引き留めようとする内なる声が出てくるものです。周りの人はどう思っているのか。誰も褒めてくれるはずがない。周りは反対するに決まっている。高校生にもなって笑われる。こうした声は挙げたらキリがありません。

「天与の花を咲かす喜び 共に咲く喜び 人見るもよし 人見ざるもよし 我は咲くなり」

そんな時はこの言葉を思い出してください。他人の評価や世間の価値観に振り回されるのではなく、素直に自分なりの花を咲かせること、それこそが、それだけで尊いことです。

春になればグラウンドの周りには満開の美しい桜が咲き誇ります。また、夕暮れ時に咲き始める月見草は、桜とは違った美しさがあります。植物が人の目を気にせず、季節がくれば花を咲かせるように、皆さんも自らの尊い命を大切にしながら、自分らしい花を咲かせてください。そしてこれからの人生、自分に自信を持ち、吉川中学校で学んだことに誇りを持って力強く歩んでください。(以下略)



1年間、多数の保護者・地域の皆様から当校のHPをご覧いただきありがとうございました。来年度も生徒の活動の様子や学校の様子等をお知らせしていく予定です。ぜひ、ご覧ください。

<3月6日 第44回卒業式>



【画：橋爪法一様よりいただきました】

学年の壁を越えてだれとでも仲良く、そして一人一人が活躍できる吉中を目指して活動した3年生。満面の笑顔あふれる卒業生の旅立ちの姿を、在校生は目と心に焼き付けることができました。

△▼△▼△▼△ 「巣立ちの言葉」 第44回卒業生代表



頬を伝わる風が和らぎ、日ごとに春めいてきました。今日、私達19名は、新たな一步を踏み出すために、この吉川中学校を卒業します。この3年間の思い出は、全て昨日のことに思い出ことができます。

3年前の春、サイズの合わない制服に身を包み、不安と期待に胸を膨らませた入学式。目に入るもの全てが新鮮に見え、本当に中学生になったんだという実感が湧いてきました。生徒会活動、定期テスト、OKAMI遠足、体育祭、音楽祭など、初めてのことが多く戸惑うこともありましたが、先輩方に本当に多くのことを助けていただきながら、一つ一つの活動に一生懸命取り組みました。

2年生では中学校の生活に慣れ、難くなる勉強と部活動に毎日追われました。部活動では先輩が引退し、私は部長という立場になりました。部をまとめることの大変さ、部員に指示することの責任を学びました。辛いことも多くありましたが、仲間と共に練習してきた日々は、忘れることのできない、私の大切な思い出です。生徒会活動では、引継式、三送会が初めて自分達を中心となって動いた活動でした。引継の際、先輩から「頑張れ」と声をかけられたことで、次は私達が吉川中学校を担っていくのだ、という決意が芽生えました。

3年生になり、全ての行事に「中学校生活最後の」という言葉が付くのを聞く度に、喜びと淋しさが胸に広がりました。夏に行った職場体験では、働くことの大変さ、誰かのために働くことのできるやりがいなど、多くのことを学びました。

体育祭では、生徒数減少の影響により、昨年度より規模が縮小されての開催でした。しかし、一人一人が全力で取り組み、一致団結して最高の「アオハルパワー」を発揮した体育祭にすることができました。

音楽祭では、クラス目標を達成するために、クラス一丸となって何度も練習を重ねました。他の学年に比べて少ない人数での合唱でしたが、仲間と助け合い、堂々と歌い切ることができて良かったです。

少しずつ行事が終わっていく度に、友達との別れを実感しました。短くて9年間、長くて14年間で共に過ごした仲間と離れると



というのは、想像できませんし、想像したこともありませんでした。毎日通った通学路、共に勉強に励んだ教室、何度も遊んだ体育館、そして、笑って、泣いて、時にはけんかもした18人の仲間達。全て、この14年間で私が会うことのできた、大切な宝物です。高校へ進学し、離れ離れになっても、この14年間の「キセキ」は決して消えないと思います。最高の14年間で、ありがとうございました。

1年生の皆さん、来年度新入生が入学したら、皆さんも「先輩」と呼ばれるようになります。新入生が困っていたら2年生と共に助けてあげてください。2年生の皆さん、次は皆さんがこの吉川中学校のリーダーです。不安なこと、大変なこと、これから何度もあると思います。でも、心配しないでください。皆さんには頼れる仲間がいます。支えてくださる先生方がいらっしやいます。いつも温かく出迎えてくれる家族がいます。一人で抱え込まず、今まで先輩方が築き上げてきたものに負けないうくらい素敵な吉川中学校にしていってください。

この3年間、私達のことを温かく見守ってくださった先生方、本当にお世話になりました。先生方から教えていただいたことを決して忘れず、これからの生活に生かしていきたいと思います。

お父さん、お母さん、今日まで私たちのことを育ててくれてありがとうございました。いつも困らせたり、心配させたりしてごめんなさい。これからも迷惑をかけると思いますが、よろしくお願いします。

「仲間」という存在がどれほど大切でかけがえのないものであるかということを、この3年間で私は何度も感じました。勉強を教え合ったり、行事に全力で取り組んだり、遊んだり、話をしたり……。この3年間で数えることができないくらい、私は仲間にも助けられました。これから先も多くのお会いがあると思います。しかし、吉川中学校で仲間と過ごした時間は忘れることのできない大切な思い出として、私の中に残り続けるでしょう。

最後になりますが、保護者の皆様、先生方、地域の皆様、今まで本当にありがとうございました。私達は、皆様にかけてくださった温かい言葉を忘れずに、次の一步を踏み出します。どうか私達を温かく見守ってください。そして、時には厳しくご指導をお願いいたします。本日ご臨席いただいた皆様方のご健勝とご多幸、そして、母校吉川中学校の益々のご発展をお祈りし、巣立ちの言葉といたします。



R5年 4月		【第1期 基礎づくり期】 希望をもって新しいスタートを切り、新たな仲間づくりをしよう
7日	金	新任式・始業式 給食なし
10日	月	第45回入学式(午後)
11日	火	自転車点検 学校生活オリエンテーション
12日	水	1年知能検査 発育測定
13日	木	NRT検査(国数) 生徒会入会式 PTA役員会
14日	金	NRT検査(1年社理、2・3年英社理)
18日	火	3年全国学力状況調査(国数英)
19日	水	教育期集会①
20日	木	耳鼻科検診
27日	木	1年交通安全教室
28日	金	授業参観5限 PTA総会6限 部活動保護者会





「贈る言葉」 在校生代表



「学び舎の 窓辺に仰ぎ」と校歌にも謡われる米山に、春の息吹が感じられるようになりました。今を盛りに咲く梅の花が、優しく香るこの素晴らしい日に、吉川中学校を卒業される19名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、こころよりお祝い申し上げます。

先輩方は、いつも私たちに優しくしてくださり、とても頼もしい存在でした。部活動や委員会活動では、たくさんのことを一つ一つ丁寧に教えてくださり、行事ではクラス一丸となり、全校生徒を引っ張ってくださいました。そんなみなさんの姿があったからこそ、私たちも心をつなげて様々なことに取り組むことができ、今年度の生徒会スローガンである「和衷協同～失敗を恐れず一人ひとりが活躍できる吉中～」が達成できたのだと思います。

体育祭では、「絶対に成功させよう」という思いを持った先輩方に、刺激を受けました。猛暑の中、声を張り上げて応援する姿、全力で競技に取り組む姿、笑顔で楽しそうにダンスをする姿、どれもかっこよく、多くの人に感動を与えてくれました。先輩方の熱のこもった体育祭を今でも鮮明に覚えています。解団式の後、軍関係なく称え合う姿を見て、私はとても感銘を受けました。

音楽祭では、クラスの団結力を生かして吉川中学校に響かせた「Gifts」が圧巻でした。少ない人数にも関わらず、力強く主旋律を歌うソプラノ、それに寄り添い、美しい調和を生み出したアルト、全体を支えるテノール、お互いがお互いを引き立て合うことによって、素晴らしい合唱が完成したのだと思います。先輩方よりも多いはずの私達でしたが、あの心に響く歌声には敵わないと思いました。ですが来年は、その歌声を遥かに超える合唱を、私たちも先輩方のように心をつなげて、吉川中学校に響かせます。

体育祭や音楽祭に限らず、全校で楽しんだ昼跳ねのバドミントン、縦割り班で行ったトランプやUNOなど全力で楽しむ先輩の姿を見せていただきました。学年の壁を越えて先輩方が接してくださったからこそ、全校で楽しむことができたのだと思います。

明日からは私たちが吉川中学校をまとめていく番です。先輩方に教わったことを忘れずに吉川中学校をよりよくするため、何事にも全力で取り組みます。そして、「全校生徒が学年関係なく、自分の意見を発信できる学校」にすることを、今みなさんの前で、誓いたいと思います。先輩方も、これからの高校生活が、最高の思い出になるよう、楽しんでください。

最後になりますが、19名の卒業生のみなさんが、それぞれの道で、ますますご活躍されますことを願い、贈る言葉といたします。



入賞おめでとう!!「地域のお宝紹介 CM」 優秀賞受賞

「吉川 Travel～尾神で楽しい思い出づくり～」2年C班

1・2年生が制作した紹介CMを新潟県生涯学習推進センター主催の自作映像・視聴覚教材コンクールに応募したところ、上記の作品が入賞となりました。県民の皆さんに吉川の紹介ができることを大変喜んでいきます。